

令和4年
6月1日

ひめしおタイムス

姫路市汐入川才西川放水路幹線建設工事



発行
第7号

今日のスクープ

φ1350 推進工 No.8 立坑に無事到達

～予定通り順調に掘削し完了しました～

4月10日に発進したφ1350 推進は1日に7.2mのペースで順調に掘削を進め、5月10日に夢前中学校前のNo.8立坑に到達しました。



これで今回の工事の3本の推進工事は全て完了しました。長いもの、大きいもの、地表面に近いものと、それぞれ難しさが違いましたが、無事に掘りきることが出来、一安心です。



掘削を終えたφ1350 泥濃式推進機 お疲れ様でした！



シールド坑内最後の直線
ちょうどこの上の地上部分にJR山陽本線が通っています

今月のメインピック

シールド もうすぐ No.3 立坑に到達

～JR山陽本線の直下を無事に通過～

シールドは、5月10日、11日の二日間をかけてJR山陽本線の直下を無事に通過しました。今回の工事の最大の山場でしたが、列車の運行に影響を与えることなく無事に通過できたことで、スタッフ一同ホッと胸をなでおろしました。

そして、No.3立坑まであと30mほどの距離まで来ましたが、6月上旬にはいよいよ到達する予定です。立坑からシールドマシンが顔を出す瞬間が、我々技術者にとっての一番の喜びです。来月号でご紹介できると思いますので楽しみに！



バイブレーター



到達坑口 ここからマシンが顔を出します

No.4 マンホール構築中

～最終コンクリート打設完了～

No.4マンホールの構築も順調に進んでいます。3回目のコンクリートの打設が完了して、地下8mから地上部分までの構造物が出来ました。鉄筋コンクリート構造は、型枠と鉄筋を組み立てて、そこに生コンクリートを打ち込んで固めることで作られます。写真は頂版(一番上の床)のコンクリートを打設しているところです。コンクリートは、バイブレーターと呼ばれる振動する装置を用いて「締め固め」という作業を行い、コンクリートを密実なものにします。

クイズ

シールド工法のヒントになった生き物は？

シールド工法の歴史は古く、19世紀の初めにフランスの技術者マーク・ブルネルが、ある生き物を見てそれをヒントにして発明したと言われています。その生き物とは何でしょう？

1. カタツムリ
2. もぐら
3. フナクイムシ

正解は枠の外を見てね！

-お問合せ先-

事業主体：姫路市上下水道局
TEL：079-221-2663

発注者：日本下水道事業団
TEL：078-752-2129

施工者：清水・森長・宇鷹 JV
TEL：079-230-0877